

効率よく

上手に使おう

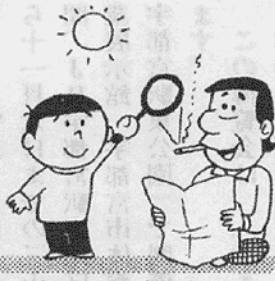
冬將軍がデンと居座り、春が待ち遠しい季節です。この時期、家庭では室内を暖めるヒーター、こたつ、ストーブなど多くの暖房機器がフル回転—わたしたちの生活を快適にしてくれます。しかし、こうした暖房機器のほとんどは石油、天然ガス、電気などのエネルギー資源が不可欠だということをお忘れたくないのです。

二月は「省エネルギー月間」です。貴重な資源を有効に使うために、暮らしの中でできる冬の省エネを考えてみましょう。

エネルギー資源は

限りあるもの

日本はエネルギー資源の約八割を、輸入に頼っています。つまり、わたしたちの暮らしに欠かせない灯油やガソリン、電気などは、海の向こうからはるばる運んできた原油など



省エネルギー月間

省エネルギー 1月間

家族でできる

省エネ対策

それではどうすればよいのでしょうか。

例えば、次のような点に気を使いましょう。

▽冬の夜、家族が一部屋に集まって、こたつでくつろぐのはいいものです。このこたつの上掛けに、毛布を加え、こたつ敷を使用すると消費電力は約三十パーセント少なくて済みます。

▽窓の大きさにもよりますが、夜は雨戸を閉め厚手のカーテンをすることによって、暖房のときに十〜二十パーセントの省エネルギー効果が上げられます。カーテンは、床まで届くものだと一層効果的です。一家団らんのひとつときに、家族でできる省エネ対策を話し合ってみてはいかがでしょう。

東京に雪が降ると、転んで骨折したりする人が多く、よく話題になります。これは、雪に慣れていないからでもあります。都会の人が最近あまり手袋をはめなくなったことも関係があるようです。寒いと手をポケットに入れていたため、転んだときけがをしやすいうのです。

手袋というと、子供のころ、霜やけの手にお母さんが夜なべして編んでくれた手袋をはめて、霜柱を踏みながら登校した思い出のある方も多いと思います。昔は子供の手袋は左右を毛糸のひもでつないでいました。大切な手袋をなくさないためです。でも最近、電車や駅の落とし物の手袋を探しに来る人がほとんどいないそうです。

歳時記

手袋とひとくちにいいいますが、形によっていろいろな名があります。五本指のものをクラブ、親指と他の

四本の指とが別になっているものがミトン、指先がないものがミットです。

手袋は防寒だけでなく、装飾用、礼装用としても使います。男子の礼装には、白の子ヤギの皮の手袋が使われることもあり、女性の盛装にはひじの上まであるものもあります。

手袋

ところで、二月は省エネルギー月間です。このころ、比較的エネルギー事情がいよいよ見えるので、つい油断しがちですが、暖房の合理的な使用を心がけるなど、省エネルギー型の生活を習慣にしたいものです。

